



明新館通信



イメージキャラクター
「めいのすけ」

平成29年度
第8号(通巻122号)
山形県立上山明新館高等学校
山形県上市市仙石650番地
TEL 023 (672) 1700
平成30年3月26日(月)発行

日日新 又日新 (日日新大に又日に新大なれ)

<行事予定>

<4月>

- 1日(日)
- 2日(月) 職員会議
- 3日(火) 学年会、分掌課会
教科会
- 4日(水) 課長主任会
- 5日(木) 職員会議
- 6日(金)
- 7日(土) 新任式、始業式
入学式、PTA入会式
- 8日(日)
- 9日(月) 1年ベシックセミナー
(~11日)
2・3年課題テスト
対面式、部紹介
進路希望調査①
- 10日(火) 1年課題テスト
校歌練習①
- 11日(水) 校歌練習②
保健室オリエンテ
ーション
- 12日(木) 尿検査① SC①
- 13日(金) 身体計測(1・2校時)
- 14日(土)
- 15日(日)
- 16日(月) 進路指導委員会①
- 17日(火) 学校一斉退校日
- 18日(水) 2・3年顔写真撮影
1年貧血検査
分掌課会
- 19日(木) 諸検診
1年顔写真撮影
部総会
- 20日(金) 第1回PTA役員会
- 21日(土)
- 22日(日)
- 23日(月) 1年心電図・胸部レ
ントゲン
課長主任会
顔写真撮影(欠席・再度)
- 24日(火) 各種委員会
単位追認テスト①
- 25日(水) 職員会議
- 26日(木) 諸健診、尿検査②
- 27日(金) SC②
- 28日(土) PTA総会
3年保護者進路カ
イダンス
- 29日(日) 昭和の日
- 30日(月) 振替休日

平成29年度 山形県立上山明新館高等学校 第25回卒業証書授与式

254名の卒業生が巣立つ

「時には困難な場面に直面することもあります。一つひとつを乗り越えて、その経験が人生の大きな財産となり、『強い人間・美しい人間』をつくっていくのです。」(校長式辞より)



卒業証書授与

3月1日、本校体育館において、第25回卒業証書授与式が挙行政され、普通科177名、食料生産科37名、情報経営科40名、計254名の卒業生が、本校を巣立ちました。

阿部孝校長は、式辞の中で、90年ほど前に行われたオリンピック(1928年、アムステルダムオリンピック)の陸上競技三段跳で金メダルを獲得し、日本人初のオリンピック金メダリストとなった、織田幹雄の「強い者は美しい」という言葉を紹介し、

「強い者」とは「目標に向かって努力を重ねた者」であり、「美しい」とはその「十人十色のプロセス・過程が美しい」ということであると述べ、「皆さんには、自らの力で『自分らしく・強く・美しい生き方』を追い求めてもらいたいと思います。」

と、卒業生を激励しました。

在校生送辞では、在校生代表の伊藤萌乃(もえの)さん(2年)が、「皆さんはこれから先、慣れない生活の中で困難な壁にぶつかることもあると思います。そのような時には、ここで過ごした三年間を思い出してください。先生方や友達そして私たちと過ごした日々が先輩方にとって大きな心の支えになるのではないかと思います。」等と、卒業する先輩への感謝や激励の気持ち、在校生としての決意などを伝えました。



卒業生答辞

卒業生答辞では、卒業生を代表して丹野優唯(ゆい)さんが、これまでの三年間の日々を「『念ずれば花ひらく』を合言葉に『目標に向かい行動を続けることで目標が実現する』と信じて、日々の学習や部活動、生徒会活動に」全力で取り組んできた日々であったと振り返り、

「この三年間、明新館で学んだことは『ゴールまでの過程を大切にすること』です。花を咲かせるためには地道な努力の継続が必要で、苦しい時もあります。その努力なくして『花ひらく』ことはありえないのです。」

「過程の大切さを知った私たちは、将来、どんな壁にぶつかったとしても、努力を重ね、何度でも挑戦し、壁を乗り越えていきます。」

と、将来への決意を力強く表しました。

先輩から後輩へ ～進路体験を語り継ぐ会～

3月16日、本校において、「先輩から後輩へ ～進路体験を語り継ぐ会」が行われました。「卒業生の進路実現に至る実体験を伝えることによって、在校生自身の進路意識の高揚・深化」を図ることが目的で、当日、46名の卒業生が来校し、6グループ（「四年制大学・公立短大」「私立短大」「理系進学」「看護医療」「就職」「公務員・専門学校」）に分かれ、自身の体験を後輩に伝えてくれました。「一緒に勉強する友達がいたから自分も頑張ることができた」といった、先輩たちの話に、2年生、1年生は、集中して耳を傾けていました。



第2回学校評議員及び学校関係者評価委員会報告

2月15日に、本校会議室において、「第2回学校評議員及び学校関係者評価委員会」が行われました。①平成29年度指導の重点及び具体的方策について（年度末評価）、②平成29年度学校評価について（生徒・保護者・職員からのアンケート集計結果）、③各種活動（魅力あふれる高校づくり推進事業他）の3点について、協議しました。委員の方々からは、「近隣住民の方々から、挨拶や自転車の乗り方がよくなったと聞いている。この傾向が続くようにしてほしい」、「ボランティア活動に積極的であることを評価したい。市内の各施設から感謝の言葉を聞いている」等々、貴重なご意見をいただきました。アンケートの結果等の「学校評価」は、4月の初めに本校ホームページに掲載します。

平成29年度第15回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール

優秀作品4首 入選作品14首

第15回斎藤茂吉ジュニア短歌コンクールにおいて、本校生徒の作品14首が「入選作品」となり、さらに、その中の4首が「優秀作品」に選出されました。当コンクールの「高等学校の部」には、県内外から4151首（内、県外から2450首）の作品が寄せられ、「入選作品」は計79首、「優秀作品」は計19首でした。〔「優秀作品」4首〕

- 祖父の居ぬ畑はどこか寂しげで帰らぬ人を待てるようだ 伊藤あかり（2年）
- 初詣おみくじ引いて運試しおみくじ通りにされてたまるか 工藤朱莉（2年）
- 雪の中埋もれたボールを探し出す練習のあとの最初の仕事 高橋奈々（2年）
- 選手へのおにぎり作り三年間私はきっといい主婦になる 熊谷美咲（3年）

公職選挙法講座を実施 ～選挙の主役は君たちだ！～

3月15日に、本校で、2年生を対象に、公職選挙法講座が開かれました。上山市選挙管理委員会の板垣郁子委員長が講師を務めてくださり、選挙権年齢が満18歳に引き下げられたことの経緯や意味、投票を行うことの重要性、選挙活動に関する規則等について、教えてくださいました。講座では、模擬投票も行われました。

平成31年4月には、4年に一度行われる、統一地方選挙が予定されており、現在の2年生が投票を行うこととなります。そうした生徒たちにとって、選挙への理解を深め、意識を高める貴重な機会となりました。



春の人事異動（退職、転出される教職員）

平塚 志信（教頭）	米沢東高校（校長）へ	白旗 紅（国語）	県教育センターへ
佐藤 学（保健体育）	長井高校へ	川合 晴美（保健体育）	霞城学園高校へ
荒木 健郎（英語）	退職	山口 和彦（英語）	東桜学館高校へ
柴崎 彩（国語）	北村山高校へ	御船 悠（地歴公民）	寒河江高校へ
政金 康太（保健体育）	米沢工業高校へ（新採）	伊豆田元子（英語）	天童高校へ
上野 司（商業）	左沢高校へ	五十嵐久恵（養護教諭）	山形西高校へ
志藤 丈友（農業）	左沢高校へ	鈴木 靖子（学校司書）	山形北高校へ
高田 麻美（美術）	山形中央高校へ（新採）	井上 純一（農業）	退職
鈴木 純子（事務部次長）	村山特別支援学校へ	小川 雄二（学校技能員）	山辺高校へ